

熊本地震テーマに40点

新聞博物館 あすからアート展



アート作品の設置が進む新聞博物館の会場＝熊本市中央区

クアールや、動物彫刻被災した同館の活字を使った空間芸術作品など約40点を展示する。

同校部の三枝泰之教授と交流するポーランドの美術学校の学生と教官も出品。福島在住の芸術家山本伸樹さんの「福興」と描かれた巨大だるまのバルーンも並ぶ。

同館は「真の復興に向けて、何らかの希望を感じてもらえたら」としている。

開幕前日の7月31日午後4時から、前衛舞踏家原田伸雄さんが会場で、鎮魂のダンスパフォーマンスを披露する。
(中原功一朗)

熊本地震をテーマにしたアート作品の展覧会「M7・3地球の声を聞く『消えたもの』」が8月1日、熊本市中央区(同市)の学生や卒業生ら

の新聞博物館(熊本日日新聞社内)で始まる。熊日主催で31日まで。観覧無料。

が、ナマズなどをモチーフにしたグラフィック

崇城大芸術学部(同)の学生や卒業生ら